

# 地域密着型金融推進計画の進捗状況

---

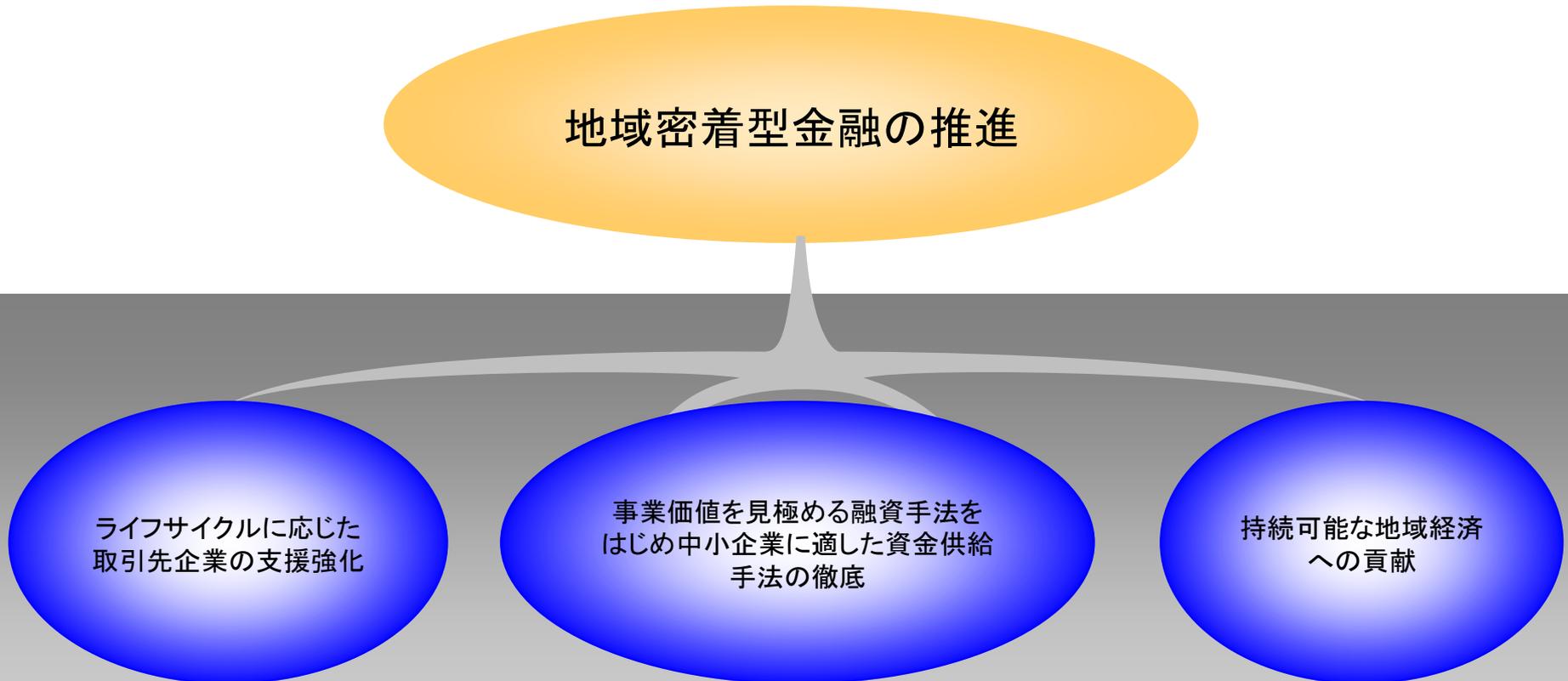
(平成19年4月～20年3月)

関東つくば銀行

# I. 『地域密着型金融』の取り組み方針

当行は、「地域の皆さまの信頼をもとに、存在感のある銀行を目指し、豊かな社会づくりに貢献する」という基本理念をもとに、『地域密着型金融』の推進においても、中小企業に対する円滑な資金の供給と支援強化を通じて地域経済の発展に貢献することを自らの果たすべき役割と考え、継続的な取り組みを実施しております。

当行は、今後も地域金融機関としての本質を忘れることなく、地域に根ざした営業を展開、地域経済の発展に貢献することにより自らの経営力を強化し、更なるお客様への利便性向上を図ってまいります。



## Ⅱ. 地域密着型金融推進計画の進捗状況について

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(平成19年4月～平成20年3月)

取り組み項目	主な取り組み内容	主な取り組み実績
○創業・新事業支援	<p>「つくばベンチャーファンド」で投資事業有限責任組合を組成している「フューチャーベンチャーキャピタル(株)」と連携を強化し、ベンチャー企業投資先の発掘に取り組みました。</p> <p>茨城県等との連携を密にしなが、「いばらきベンチャーファンド」での投資先ベンチャー企業の発掘に取り組みました。</p> <p>産業技術総合研究所を継続的に訪問し、産学官連携の提携に取り組みました。</p>	<p>平成16年3月に創設した「つくばベンチャーファンド」の投資実績は、平成20年3月末で10社、投資金額359百万円となりました。</p> <p>平成16年3月に茨城県が創設した「いばらきベンチャーファンド」の投資実績は、平成20年3月末で11社、投資金額487百万円となりました。</p> <p>平成20年2月に安田企業投資(株)が創設した投資事業組合に新たに参加しました。</p>
○経営改善支援	<p>融資方針を明確にしなが経営改善の動機として、要管理先・破綻懸念先については具体的な個別取組方針を協議し、経営課題抽出・最適で実現可能性の高い改善策を提案しなが経営改善計画策定支援を実施しました。</p> <p>「格付け取得取次ぎ業務」の積極推進による経営改善支援を強化しております。</p> <p>確定拠出年金業務、ISO取得取次ぎ業務等を通じたコンサルティング機能の強化に取り組みました。</p> <p>ビジネスマッチングによる販路拡大等の経営支援を強化しております。</p>	<p>平成19年度上期に経営支援130先を選定、下期40先を加え合計170先の経営支援先を対象としました。対象先に対して経営計画策定支援100先、ランクアップ20先を目標に活動しました。平成20年3月末での成果は経営計画策定支援103先、ランクアップ15先となりました。</p> <p>「格付け取得取次ぎ業務」については、2社取次ぎし格付け取得となりました。</p> <p>コンサルティング機能強化の観点から、営業店と本部でタイアップした活動を実施し、ISO取得取次ぎ業務において1社成約となりました。</p> <p>12月6日「ビジネスマッチング商談会IN上海」に取引先企業が参加となりました。</p>
○事業再生支援	<p>事業価値毀損前の早期事業再生を実現する為に、当該債務者の担当税理士をはじめ、経営コンサルタント、中小企業再生支援協議会等外部機関との適切な連携を図りなが、当該債務者に最適な経営改善支援を実施しました。</p>	<p>外部専門家との連携により、当該事業再生についての税務リスクや法令リスク等の検証を専門家の目線により確認することが可能となり、本支店活動におけるノウハウ不足を補完することが出来ました。これらのメリットを活かしながより実質的な経営改善取組が出来るようになりました。</p>

## Ⅱ. 地域密着型金融推進計画の進捗状況について

事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(平成19年4月～平成20年3月)

取り組み項目	主な取り組み内容	主な取り組み実績
<p>○担保・保証に過度に依存しない融資等への取り組み</p>	<p>動産(建設機械・事業車両)担保とする新たな融資手法の取扱いを実施しました。建設機械についてはリース会社との提携を、事業車両については信販会社との提携により、動産を担保とした融資手法に取り組みました。</p> <p>また、流動資産担保融資制度(ABL保証)への取り組みを強化し、取扱件数目標:10件としました。</p>	<p>①建設機械担保実績 : 2件            ②事業車両担保実績 : 1件            ③流動資産担保融資制度(ABL保証)実績 : 18件</p> <p>動産を担保とした融資手法の対応強化を図り、合計21件を対応させていただきました。</p>
<p>○企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み</p>	<p>企業のライフサイクルに応じた審査能力や支援手法を習得することで、踏み込んだ審査のできる人材を育成しております。</p> <p>また、「企業の目利き能力」を向上させることで、企業の将来性や事業価値を見極めて、企業の資金需要やニーズに対応できる行員を育成しております。</p>	<p>取引先企業の融資審査能力や支援手法を習得することで、目利き能力の向上と専門的知識を有した人材の育成に取り組みました。</p> <p>①地銀協研修への派遣            地銀協研修(21名)へ派遣することで専門的ノウハウを吸収し、行内研修においてはフィードバックを実施し育成を強化しました。</p> <p>②行内研修            行内研修(245名受講)を通して融資部のノウハウを営業店にフィードバックすることで企業支援体制を強化しました。</p> <p>③休日セミナー            19年9月より外部講師により休日セミナーを毎月開催することで、融資審査・目利きの能力の向上を図りました。</p> <p>④ブロック勉強会・通信講座            融資審査・目利きを向上するための勉強会を各ブロックにおいて毎月1回～3回程度実施することで行員の育成を図りました。通信講座においては、アクションプログラム関連講座を95名が受講修了し専門的知識の習得を図りました。</p>

## Ⅱ. 地域密着型金融推進計画の進捗状況について

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(平成19年4月～平成20年3月)

取り組み項目	主な取り組み内容	主な取り組み実績
<p>○地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>	<p>当行の営業基盤である茨城県の施策・ビジョンについて、地域金融機関として金融商品を通じた支援を実施し、地域経済や地域の活性化につながるサービスを提供する目的として取り組んでまいります。</p> <p>茨城県が少子化対策を総合的、計画的に推進することを目的として策定している「大好きいばらき新エンゼルプラン21」の基本的考え方の一つにある「地域における子育て支援」を地域金融機関の立場から支援してまいります。</p> <p>茨城県策定の「元気いばらき」の重点戦略「日本の食を支える元気No. 1農業」を金融の立場から支援してまいります。</p>	<p>(1)エンゼルサポート優遇制度の活用</p> <p>①平成19年4月から優遇内容を従来のローン商品から定期預金へ拡大すると共に、優遇対象者を同居家族へと拡大しました。</p> <p>②平成19年10月から茨城県で発行する『「いばらきkids club」カードの保有者』を対象者に追加し、定期預金の金利優遇枠を追加しました。</p> <p>(2)お客様の多様な資金調達ニーズに対応し、農業事業者向け専用ローン「豊穰」79件／174百万円およびスコアリング審査ローン商品「ビジネスプラス」20件／73百万円を対応させていただきました。</p> <p>(3)農業事業者向けローンの見直し(金利体系)の実施</p> <p>平成19年10月から農業者向けへの金利優遇施策(従来金利体系から1%優遇)を実施しました。また、ものづくり企業を組織化し、技術ユーザー企業(最終製品製造企業)との企業マッチングなどを柱とした「ものづくり企業支援事業」を積極的に展開いたしました。</p>

### Ⅲ. 課題と今後の対応

平成20年4月1日よりスタートした第3次中期経営計画「NEW STAGE 2011」の基本方針は、株主価値の向上と行員が躍動するステージを実現し、顧客満足度を高めて地域経済の発展に貢献することです。これは地域に密着した経営を通じて営業基盤を拡充していくことが当行の使命であり、このことがお客様、株主の期待に応えることになり、地域経済への貢献に資するとの考えによるものです。取引先企業の支援強化として、外部の専門機関との強化し経営改善や事業再生支援に取り組むほか、ファンドを活用したベンチャー企業に対する支援やビジネスマッチングを通じた経営相談機能の強化に取り組んでまいります。

地域に対する金融の円滑化として、動産担保の融資やスコアリング商品など個人保証に過度に依存しない融資の推進に取り組んでまいります。地域活性化の推進とし、茨城県が策定したビジョンに金融面からの支援を通して、地域の活性化に貢献してまいります。

